

協会だより

第43号

令和3年10月1日発行

福岡県立学校事務職員協会

会長の挨拶

「ご挨拶」

福岡県立学校事務職員協会 会長 森部 一文

今年度より会長をしています筑前高校の森部と申します。どうぞよろしくお願いたします。

また、日頃より本会の運営にご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

コロナ禍の中、マスクを着用し3密を避ける「新しい生活様式」が、いつの間にか当たり前となり、ワクチン接種が進んではいるものの、変異株の影響もあり感染が衰える気配はありません。

このような状況下、1年の延期を経て開催された東京オリンピック・パラリンピックでは、福岡県立学校出身者も出場し、人々にスポーツを通じて勇気と感動を与えてくれました。

さて、5月の定期総会は、昨年度に引き続き書面決議で実施されました。例年であれば、研究・改善委員会の研究発表や、新規採用職員及び義務制からの転入者の紹介等も行っているところですが、今年もかないませんでした。

6月の九州大会（沖縄大会）は、集合開催を中止し、Zoomを併用したYouTubeライブ配信により、午前には福岡・佐賀・熊本・宮崎の研究発表、そして午後は沖縄・長崎・鹿児島の研究発表を実施しました。

福岡県は、研究・改善委員会の研究グループによる「新型コロナ感染～その時どう動いたか、コロナ元年度の学校対策～」をテーマにした研究発表を行いました。各学校がこれから如何にしてコロナ感染拡大防止に取り組んでいくか、大変参考となる発表だったと思います。「あの時は大変だったね」と振り返れる日が、早く来ることを願うばかりです。

午後からは、ミニ福岡大会ということで、昨年中止により発表できなかった、沖縄・長崎・鹿児島の研究発表を福岡のスタジオ（小倉リーセントホテル）から発信しました。司会者お2人のスムーズな進行のおかげで無事に終了することができました。初めてのWeb開催で、戸惑うことも多々ありましたが、「九州は一つ」という思いを改めて感じさせられた大会であったと思います。

ただ、ここで残念なお知らせがあります。次回、令和4年度の九州大会は大分県で開催予定でしたが、大分県協会の会員数減少に伴い、研究体制が取れず九州大会に向けた組織体制を構築することは困難であるという理由で、中止することが九州協議会臨時理事会で決定されました。大分県では平成23年度から採用枠の行政採用一元化により、採用後6年間で本庁・出先・県立学校を経験するルールになっており、学校には2年間しか勤務しないため、協会への加入が厳しい状況となっているようです。

全国に目を向けても、このような事情によりすでに協会の活動を休止している都府県が12もあり、全体の25%に達しています。この「採用一元化」が、事務職員協会の活動に大きな影響を与えていることは間違いないことだと思います。

1年延期された全国大会（愛知大会）は、コロナ禍の中、紆余曲折を経てオンライン（動画配信）により、9月13日～14日の2日間の日程で開催され、福岡県からは、市立の学校も含めて30校が参加しました。配信動画は、9月末まで視聴できたので、業務の合間に見返すことができ良かった

のではと思っています。

そして、令和6年度の全国大会は、福岡県での開催が決定しています。今から3年後です。これから実行委員会を立ち上げて準備をしていくこととなりますが、多くの会員の皆様にご協力をお願いすることになると思います。その際はどうぞよろしく願いいたします。

本協会は、学校事務に関する研究・研修を行うことで、会員の資質の向上を図ることを目的に活動していますが、コロナ禍の中で思うような活動ができず、リモート等で実施する方法を取らざる負えない状況となっています。

私が以前いた工業高校で、「不易流行」という言葉をよく耳にしました。もともとの語源は蕉風俳諧に由来する言葉です。「不易」は、いつまでも変わらないもの。「流行」は、世の中の変化とともに変わっていくものという意味です。協会の活動で言うと、会員の資質向上を図る(=不易)ために、研修内容や方法を変化させていく(=流行)ことだと私は考えます。「その本は一つなり」即ち「両者の根本は一つ」です。「不易」があつての「流行」であり、「流行」があつての「不易」です。これからの協会にとって「不易」も「流行」もどちらも大切なことです。今コロナ禍の中で、「不易流行」な考え方をもつことが、活動していくうえで必要なのではと感じています。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染の終息が未だに見通せない状況です。会員の皆様には、お身体には十分ご留意ください。

各 研 究 大 会 等

◎福岡県立学校事務職員協会総会

令和3年5月28日(金)に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。

集団感染を防止するための特例として、書面表決を行い、議案については、全て提案どおり可決されました。

◎第69回九州協議会研究大会並びに総会(沖縄大会)

開催日 令和3年6月11日(金)

開催方法 Zoom ミーティングを併用してのYouTubeライブ
配信による開催

ライブ配信会場 沖縄県教職員共済会館八汐荘 屋良ホール

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、初の試みとなる“WEB開催”となりました。

本県からは研究改善委員会 新型コロナ対策特別チームが「新型コロナ感染—その時どう動いたか、コロナ元年度の学校対策—」と題し、発表しました。

いまだ猛威をふるい続ける新型コロナに直面した“コロナ元年(令和2年)”を振り返るとともに県立学校での感染対策・対応について具体的な事例の紹介がありました。

“正しく恐れる”ことの大切さを学べた、大変有意義な発表でした。



会長挨拶



新型コロナ対策特別チーム発表

午前の部では ①福岡県 ②佐賀県 ③熊本県 ④宮崎県が、午後の部では福岡県運営のもと、福岡大会発表県の ①沖縄県 ②長崎県 ③鹿児島県が研究発表を行い、無事閉会となりました。

研究改善委員会 新型コロナ対策特別チーム、運営に携わった皆様方におかれましては、大変お疲れ様でした。

総会議案については、集団感染を防止するための特例として、書面表決を行い、審議の結果、全て提案どおり可決されました。

功労者表彰では、本県から 25 名の方々が表彰されております。



福岡県ライブ配信の様子

◎第 73 回全国公立高等学校事務職員研究大会並びに総会（愛知大会）

開催日 令和3年9月13日(月)～14日(火)

開催方法 動画配信による開催



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となっていた愛知大会が、動画配信にて開催されました。

第1日目は文部科学省初等中等教育局視学官室 主任視学官 長尾篤志氏による講話「教育政策の動向」、そしてカレーハウス CoCo 壺番屋創業者 NPO 法人イエロー・エンジェル理事長 宗次ホール オーナー 宗次徳二氏による記念講演「カレーなる私の人生」がありました。

第2日目には「学校組織マネジメント」「業務の改善と効率化」「今日的課題への提言」といった3つのテーマに沿った8県による研究発表が行われました。

1日目、2日目ともに大変有意義なものとなりました。

功労者表彰では、本県から 23 名の方々、そして第72回全国公立高等学校事務職員研究大会優秀研究発表「ワークライフバランス～意識を変える～」の発表者として、直方特別支援学校 佐々木 志津子 事務長、鞍手竜徳高等学校 野村 一生 事務主査が表彰されております。



筑豊地区事務研究委員会の皆様、
おめでとうございます！
大変お疲れ様でした。



福岡県立学校事務職員協会研究協議会時に視聴しました。